

# 高齢者を応援

「最期は我が家で」と思っていたのに――

2010年の調査では、国の試算では、在宅ケアだと月32万円だが、病院での長期療養だと月53万円。個室で家のようにのびのびしたいと思うと、月100万円以上かかる病院もある。日本の宝、国民皆保険制度を守るためには、在宅ケアが望ましい。

（「死を受けとめる練習」 鎌田實著より）

## 94歳の母は住み慣れた家で、安らかに旅立ちました。

「こんにちは。お母さんの具合、今日はどうですか？」先生がもう来るはずやと思っただけで、待つてました。

Aさん宅と小松病院の地域包括ケア事業部では、こんな会話がずっと続いていた。



訪問診療する医師と看護師

心臓が悪く外来通院が無理になったAさん（94）は、4年前から在宅医療を受けていた。世話をする娘さんは70代。高齢の二人暮らしに主治医の気がかりは尽きない。Aさんの傾眠が多くなり、看護スタッフの訪問回数を増やしていたが、4月のある日、「母親の呼吸が止まったようです」と事業部に娘さんから連絡が入った。長年の往診で医師との絆は深い。母親の傍に寄り添う娘さんは、医師やスタッフに長期介護の葛藤、喪失感などを語りだした。安堵感と悲しみが交錯する自身の胸中。母親の思い出話は、いつしか故人への供養にもなっていた。振り返ってみると、訪問診療のひとときや訪問看護スタッフとの他愛ない世間話、娘さんにとって、介護生活の唯一の楽しみだったのかも知れない。本音を吐き出す娘さんの姿

に、スタッフの誰からともなく「娘さんのご様子が心配」落ち着いた時期に一度、お顔を見到伺おう」の言葉が出た。

「訪問診療室・訪問看護スタッフは患者さんだけでなく、ご家族へのグリーフケアも重視しています」。地域包括ケア事業部・楳館留美部長は話す。診る想いと見る深さ。家族の内面までを推し量るとは、なんと奥の深い活動なのだろう。

※悲嘆に暮れる人が、その悲しみから立ち直れるよう支援する。

## 在宅医療の取り組みは今――

## 弊紙ライターへの介護体験記同時掲載

親父が認知症に!? 平藤清刀さんの介護体験記 #2

2018年3月号からの連載中

両親が住む実家から歩いて数分の距離に総合病院があります。翌日、さっそく母に付き添われて病院を訪れた父は、認知症の検査を受けたそうです。はたして結果は、平たくいえば「境界です」ということで、このまま放置すれば確実にアルツハイマー型認知症へ進むという診断でした。

私も母もいささか楽観視していたところがありまして。ところが父は昔から医者嫌いの素。40歳の後半で尿管結石を患ったときも、激痛で七転八倒するまで病院へ行こうとしませんでした。

余ってきます。「なんで薬がこんなに残ってるの?」と問い詰める。「薬なんか医者の気休めや」と嘯いたり「飲んだら気分が悪くなる」と言い訳したりして、母が見張っていないければ薬に手を伸ばさずともしませんでした。

そうは言っても今は症状の進行を遅らせる薬がありますし、年齢から考えても本格的にボケ始める前にご先祖様が迎えに来るだろうと、

治療ではなく検査だから受けたのかもしれない。認知症の検査を受けたのが不思議なほど。認知症は傍目にはわかりませんが、着実に進行し、1年後には早くも私の仕事と父自身が昔やっていた仕事を混同するようになっていました。

果は素人でもわかりませんが、認知症は傍目にはわかりませんが、着実に進行し、1年後には早くも私の仕事と父自身が昔やっていた仕事を混同するようになっていました。

（次号に続く）

（次号に続く）

（次号に続く）

## AGORA's EYES 医療法人 協仁会 小松病院

【寝屋川市】

### 地域医療構想とは

厚生労働省の掲げる「地域医療構想」は、各地域の医療施設や介護施設がそれぞれの得意とする役割を分業して、高齢者を地域全体で超急性期医療から介護（生活）までを、切れ目なく連携・効率的に支えていくというシステムだ。従来型の同じような機能の病院が横並びに存在するのは根本的に異なる。

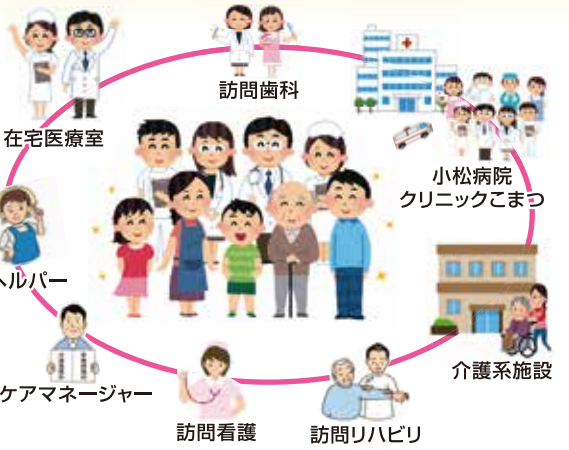
医療機関の果たす役割は、それぞれの立ち位置をより明確に意識することが今こそ求められている。「地域連携室」の役割は、以前より、はるかに積極的な意味合いを持つようになった。最善のサービスを受けられるところへ連携誘導するコーディネート力が必要で、自分たちの施設の特徴・強みを明確かつ適切に地域に発信する必要がありますがある。

こうしたなか、小松病院地域医療連携室・地域包括ケア事業部では、500名以上の人が在宅医療、訪問看護サポートをしている。24時間体制で、在宅医療法、人工呼吸器管理、喀痰吸引指導、地域の調剤薬局との連携による内服・点滴管理などを実施。神経筋難病患者やがん末期患者も対応していることから、他医療機関や他地域からの在宅診療の要望などがどんどん寄せられ、事業体制の拡充や新構築に迫られている。

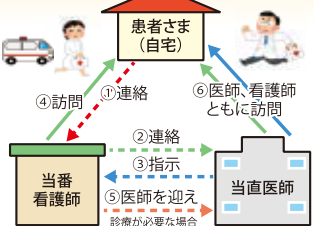
小松病院地域包括ケアを支える母体 小松病院地域包括ケアを支援する母体 小松病院地域包括ケアを支援する母体

小松病院 地域包括ケア事業部 (問)072-823-1521 寝屋川市川勝町11-6

## 協仁会グループはご自宅での生活をサポートいたします



## 安心な24時間体制 <在宅医療総合管理料>



訪問地域について 現在は寝屋川市を中心に全域を網羅。要望に応じて、寝屋川市に比較的近い門真市四條畷市・交野市の一部地域も訪問している。なお、他地域については随時、相談を受け、可能な限り対応にあたること。

## 24時間体制で在宅医療・訪問看護サポート

24時間体制で在宅医療・訪問看護サポート

24時間体制で在宅医療・訪問看護サポート

24時間体制で在宅医療・訪問看護サポート

看護師を募集しています!